

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年3月25日
【会社名】	極東貿易株式会社
【英訳名】	Kyokuto Boeki Kaisha, Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 三戸 純一
【本店の所在の場所】	東京都千代田区大手町2丁目2番1号
【電話番号】	03(3244)3592
【事務連絡者氏名】	執行役員 苫米地 信輝
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区大手町2丁目2番1号
【電話番号】	03(3244)3592
【事務連絡者氏名】	執行役員 苫米地 信輝
【縦覧に供する場所】	極東貿易株式会社 大阪支店 (大阪市北区中之島2丁目3番18号) 極東貿易株式会社 名古屋支店 (名古屋市中村区名駅南1丁目16番30号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社は、平成27年3月23日開催の取締役会において、エトー株式会社の株式を59.5%取得し、子会社化することについて決議いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項ならびに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第3号および同条第2項第8号の2の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

1. 特定子会社の異動（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第3号に基づく報告）

(1) 当該子会社に係る特定子会社の名称、住所、代表者の氏名、資本金および事業の内容

名称	エトー株式会社
本店の所在地	神奈川県横浜市西区みなとみらい2丁目3番5号、クイーンズタワーC21階
代表者の氏名	代表取締役社長 中村 直人
資本金	669百万円
事業の内容	ネジ鋸螺その他工具の販売、ネジ関連機械器具の販売、鉄鋼、非鉄金属、合成樹脂製品およびこれらの原材料の販売等

(2) 当該移動の前後における当社の所有に係る当該特定子会社の議決権の数および当該特定子会社の総株主数等の議決権に対する割合

当社所有に係る当該特定子会社の議決権の数	
異動前	- 個
異動後	456,433個（うち、間接所有分92,519個）
当該特定子会社の総株主等の議決権に対する割合	
異動前	- %
異動後	59.5%（うち、間接所有分8.7%）

(3) 当該異動の理由およびその年月日

異動の理由

当社は、平成27年5月1日にエトー株式会社を子会社化する予定であります。

当該子会社の資本金の額が当社の資本金の額の額の100分の10以上に相当し、当社の特定子会社に該当することになったためであります。

異動の年月日

平成27年5月1日（予定）

2. 子会社の取得（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2に基づく報告）

(1) 取得対象子会社の概要

商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額および事業の内容

商号	エトー株式会社
本店の所在地	神奈川県横浜市西区みなとみらい2丁目3番5号 クイーンズタワーC21階
代表者の氏名	代表取締役社長 中村 直人
資本金の額	669百万円
純資産の額	13,676百万円
総資産の額	18,278百万円
事業の内容	ネジ鋸螺その他工具の販売、ネジ関連機械器具の販売、鉄鋼、非鉄金属、合成樹脂製品およびこれらの原材料の販売等

(注) 資本金の額、純資産の額、総資産の額は、平成26年3月期のものです。

最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益および純利益

	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期
売上高	18,133百万円	16,669百万円	15,694百万円
営業利益	898百万円	636百万円	877百万円
経常利益	885百万円	932百万円	1,067百万円
当期純利益	386百万円	546百万円	558百万円

提出会社との間の資本関係、人的関係および取引関係

資本関係	当社と取得対象子会社との間には、記載すべき資本関係はありません。
人的関係	当社と取得対象子会社との間には、記載すべき人的関係はありません。
取引関係	当社と取得対象子会社との間には、記載すべき取引関係はありません。

(2) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

エトー株式会社は、ねじの専門商社として出発し、技術集約型のファブレス企業へと進化する中で、多くの協力工場とともに新素材や新加工技術を複合的に組み合わせ、新しいソリューションを生み出す提案型企業集団として、国内はもとより、中国、東南アジアを中心にグローバルな事業展開を着実に進めております。

当グループは、エンジニアリング商社としての本業に徹し、中期経営計画「KBK 2013」に掲げた新規事業の展開、既存事業の強化、海外展開の強化ならびにグループ経営の強化の4つの基本戦略を軸に、より積極的な投資活動を内外で実行し、企業集団としての新たな事業の具現化を着実に進めております。

上述の如く、双方の事業戦略のベクトルは合致しており、エトー株式会社を当グループの一員にすることによって、さらに充実する国内外の幅広いネットワークは、グローバルでダイナミックなシナジー効果を生み、当グループの競争力および収益力の強化に資することと判断いたしました。

当社は、エトー株式会社の株式を一部直接保有し、同社株式を保有する有限会社三栄通商の株式も一部保有することとし、エトー株式会社の持分比率は直接および間接保有により59.5%となります。

(3) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

エトー株式会社取得価格の売買代金6,186百万円と有限会社三栄通商取得価格の売買代金872百万円に、両子会社取得にあたって支払うデューデリジェンス費用その他諸経費140百万円(概算額)を含め7,198百万円を予定しております。

以上